

第3回エコイスト大賞 受賞提案

優秀賞

テーマ：自然と共生する日本のふるさと百選

提案者：小林 香（水・大気環境局総務課）

中村 裕一郎（自然環境局総務課）

小森 繁（地球環境局総務課）

〔提案概要〕

里地里山など自然との共生が行われ、日本人にとってのふるさとと呼ぶに相応しい地域を選定し、日本のふるさと百選を作る。これにより、里地里山の保全のモデル的な取組みを呈示し、その取組みを全国に普及させるとともに、今後の新たな観光として、里地里山的な自然の楽しみ方を普及させる。さらには、団塊の世代の人々が退職後の生活を考える際の一つの道しるべとして活用してもらおう。

奨励賞

テーマ：「環境史遺産100選」の選定・公表・活用

提案者：奥山 正樹（自然環境局総務課）

〔提案概要〕

環境問題を克服し持続可能な社会を実現するためには、国民一人一人が公害経験や自然保護などに関する我が国の経験を的確に認識し、これらを風化させずに次世代に継承していくことが重要である。このため、これまでの日本の「環境史」において忘れてはならない重要な事件が起こった場所を「環境史遺産」としてリストアップし、これを公表し、普及することにより、環境教育やエコツーリズムに活用し、環境保全に関する国民全体の造詣を深める。

テーマ：カーボン・オフセット市場の活性化による温暖化対策の推進

提案者：角倉 一郎（水・大気環境局水環境課）

〔提案概要〕

国内での自主的な排出削減事業の実施を通じて達成された温室効果ガス排出削減量に応じて、取引可能な自主的排出削減クレジット（VERs: Voluntary Emissions Reductions）を認証・発行する制度（国内版 CDM 認証制度）を立ち上げるとともに、事業者、国民、政府のそれぞれの部門による自主的なカーボン・オフセット（CDM クレジット(CERs)や自主的排出削減クレジット（VERs）を購入し、自らの温室効果ガス排出量と相殺する取組）を推進するための条件整備を図る。これにより、需要と供給の両面からカーボン・オフセット市場の活性化を図り、市場メカニズムを活用した費用対効果の高い国内対策を強力に推進する。